



News release :

2023. 08. 04

4年ぶりに開催！
「ビアンカ・プレミアム・ジャズクルーズ」

琵琶湖汽船株式会社

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津 5-1-1

TEL. 077-522-4115 / FAX. 077-524-7896

<https://www.biwakokisen.co.jp/>

船舶営業部 船舶企画課

～ワインと夜景、大人が楽しむジャズ&クルージング～

「ビアンカ・プレミアム・ジャズクルーズ」

運航日：2023年9月17日（日）

○大津ジャズフェスティバルコラボ企画！4年ぶりに開催！

○今年は瀬瀬歩美スペシャルカルテットが登場



琵琶湖汽船株式会社（本社：滋賀県大津市浜大津、社長：川添智史）は、2023年9月17日（日）限定で、客船ビアンカ船上にてジャズライブとディナーを楽しむ「ビアンカ・プレミアム・ジャズクルーズ」を運航します。

本イベントは、大津ジャズフェスティバルとのコラボ企画として2012年より毎年実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2019年の開催を最後に実施を見送ってまいりました。

4年ぶりの実施となる今年は、関東を中心に活躍するアルトサックス奏者・瀬瀬歩美（コウケツアユミ）と関西屈指の実力派メンバーで構成される「瀬瀬歩美スペシャルカルテット」が特別に登場します。湖上に浮かぶ特別な空間で、心弾む美しい音色をお楽しみいただけます。

さらに、ディナーにはシェフが腕によりをかけたブッフェ料理とワインなどのアルコールを含むフリードリンクをご用意。美しい夜景をご覧いただきながら、ゆったりと語らうお時間をお過ごしいただけます。

上質の音楽と美味しいお料理を楽しむ一夜限りのイベントにぜひお越しください。

イベントの詳細は、次頁の通りです。

<ビアンカ・プレミアム・ジャズクルーズ 開催概要>

運 航 日：2023年9月17日（日）大津港発着 18:30～21:00（乗船受付開始 17:30～）

大津港 18:30 発
↓ ディナータイム（約60分）
↓ ジャズライブ（2ステージ）
大津港 21:00 着



就 航 船：客船ビアンカ <https://www.biwakokisen.co.jp/ship/bianca/>

出演アーティスト：

纈纈歩美スペシャルカルテット
Alto Sax 纈纈歩美
Bass 萬恭隆
Piano 牧知恵子
Drum 中村雄二郎



料 金：お一人様 10,000 円（ディナー代、フリードリンク代、税サ込）

ご予約・お問い合わせ：

琵琶湖汽船(株) 予約センター TEL 077-524-5000 (9:00-17:00)

WEB 予約⇒ https://www.biwakokisen.co.jp/season_event/3984/

大津港までのアクセス： 京阪・びわ湖浜大津駅より徒歩約3分
JR大津駅よりバス約5分（浜大津バス下車）

<資料配布先> 大津市政記者クラブ

< 本件についてのお問合せ先 >
琵琶湖汽船株式会社 船舶営業部 船舶企画課

滋賀県大津市浜大津 5-1-1

<https://www.biwakokisen.co.jp/>

TEL 077-522-4115 FAX 077-524-7896



【別紙】

出演アーティスト プロフィール

Alto Sax 瀬瀬歩美

1988年生まれ 岐阜県出身

トロンボーンを演奏する父の影響で、幼少の頃から、ジャズ、ラテン、フュージョンに親しむ。3歳よりピアノを習い、中学でサックスへ転向。高校から本格的にジャズを始め、椿田薫氏に師事。その後甲陽音楽学院名古屋校にてさらに音楽について学ぶ。この頃から岐阜、名古屋を中心にライブ活動始める。

2010年ポニーキャニオンより、1stアルバム「Struttin'」にてメジャーデビューを果たす。ジャズオリジナル、クールジャズ、自身のオリジナルなどを収録し、注目を浴びる。

2011年2ndアルバム「DayBreak」を発表。2012年ノルウェーでレコーディングした3rdアルバム「Rainbow Tales」を発表。北欧のミュージシャンとの融合で生まれた新鮮なサウンドが評価される。2013年ニューヨークでレコーディングした4thアルバム「Brooklyn Purple」発表。

2014年前作に続き、ニューヨークにて収録した5thアルバム「Balladist」発表。自身でも初の挑戦となったバラード集は、リラックスした背景と奥深い音色が好評を得ている。収録メンバーはDavid Hazeltine (Pf) David Williams (Ba) Lewis Nash (Ds)。

2017年初のセルフプロデュースによるレギュラーバンドで録音した「Aquarelle」を発表。水彩画のような繊細で透明感のあるサウンドにこだわった。2018年小野リサをプロデューサーに迎え挑んだ初のボサノヴァアルバム「o pato」を発表。落ち着いた柔らかな音色と時にダイナミックなアプローチで、多くのファンの支持を得ている。



Bass 萬恭隆



1979年生まれ。京都府出身。ブルースマンの父の影響を受け少年時代からギターを演奏し、ブルース、ロック、ファンク等のバンドで活動する。のちにジャズに傾倒し、アコースティック・ベースに転向する。

大阪音楽大学在学中からジャズシーンでの演奏活動を始め、全国のミュージシャンと共演を重ねる。現在はジャズの枠にとどまらず様々なクリエイティブなシーンで活動中。

Piano 牧知恵子



子供の頃よりクラシックピアノを学び、同志社大学入学後ジャズに興味を持ち始める。大学在学中は、ビッグバンドに参加し、大学卒業後、関西のジャズクラブを中心に演奏活動を行う。

2003年から2004年の1年間アメリカに音楽留学をし、現在は関西のジャズクラブを中心に演奏活動を行っている。

Drum 中村雄二郎



東京都出身。16歳の時に高校の軽音楽部でドラムを始める。高校卒業後に自身のスキルアップを決意し渡米、ボストンの名門パークリー音楽院へ入学。音楽院在学中にジャズと出会い、数多くの名プレイヤーを育て上げてきた巨匠達や当時ボストンのジャズシーンを率いていた John Lamkin に師事し、精力的に腕を磨く。

2016年に帰国した後、大阪を活動拠点に、大西順子トリオや大林武司トリオツアーに参加し、ブルーノート東京への出演を果たすなど、全国的に活躍中。